

## マスク着用判断、岐阜県が「独自の考え方」推奨の場面示す 国指針に追加

2023/03/3 岐阜新聞

岐阜県は3日、新型コロナウイルス対策本部員会議を開き、国がマスク着用について原則的に個人の判断に委ねるとした3月13日以降の「岐阜県におけるマスク着用の考え方」を決めた。国の指針に沿いながら「マスクには、自身のウイルスを他人にうつさない効果があることを踏まえ、着用が効果的な場面では着用を推奨する」「症状がある人が家族と接する時にはマスクを着用する」などの県独自の考え方も加えた。

マスク着用は個人の判断を前提としながらも、着用を推奨する場面として▽医療機関受診時▽医療機関、高齢者施設、障害者施設への訪問時・勤務中▽混雑した電車やバスの乗車時▽高齢者や基礎疾患のある人、妊婦が混雑した場所に行く時-を明記。さらに、症状がある場合や同居家族に陽性者がいる場合、やむを得ず外出する際には「マスクを着用する」と示した。

学校には「着用を希望する児童生徒、希望しない児童生徒の双方に配慮」を求め、「2メートル程度の距離が確保できない状態で声を出す場合にはマスクの着用を求めるなど、各学校で適切に判断」との考え方を示した。

県病院協会の松波英寿会長は「マスクをする、予防接種する、距離を空ける、換気する-の四つが対策の基本。状況によっては、気を緩めることなく着用を続けてほしい」と呼びかけた。古田肇知事は「着用は個人の判断に委ねる部分が大きくなり、スムーズに対応できるように考え方を整理した。疑問があれば県に尋ねてほしい」と話した。

また、岐阜産業会館（岐阜市）に設けたワクチンの大規模接種会場、薬局やドラッグストアでの無料検査は3月末まで延長することを決めた。

## 青春は奪われていない、絆が勝った 高校卒業式、マスク個人判断も着用多く

2023/03/2 岐阜新聞



ギャラリーを見る  
長良高校の卒業式。ほぼ全員がマスク姿で臨んだ=1日午前10時10分、岐阜市長良西後町

岐阜県内の多くの高校で1日、卒業式が行われた。マスクについて各学校では、式典での原則着用を維持したり、個人の判断に委ねるなどして対応し、一部ではマスクを外す生徒の姿も見られた。ただ、多くの生徒は最後までマスクを着けて式に臨み、新型コロナウイルス禍の中で過ごした3年間の高校生活を締めくくった。

長良高校（岐阜市長良西後町）では、卒業生347人のほぼ全員がマスク姿で式に臨んだ。着用は個人の判断

に委ねたが、式典については、校歌を歌わないなど昨年度と同じ対応をとった。生徒（18）は答辞で「コロナは平穏な生活を押しつぶそうとしたが、私たちのつながりや考える力には手を出せなかった。崩れ去ったかにみえた青春は、確かにここにある」と思いを述べた。

聖マリア女学院高校（岐阜市福富）の式典では、卒業生83人がマスクを着用して臨んだ。本年度は在校生も出席し、マスクを着けたまま聖歌などを合唱した。

斐太高校（高山市三福寺町）でも、着用は生徒個人の判断に任せたが、マスクを外す卒業生はほとんど見られなかった。生徒（18）は「みんなマスクだし、私も着けようって。この3年間は常にマスクだったから、外す方が違和感がある」と話していた。